

# あびで

〜夏のせい〜

作 大杉篤史

夏。暑い。只管に暑い。

そこは、一軒のボロアパート。風呂なし、クーラーもない。都心からやや離れるがアクセスも良く、学生が多く住んでいる商店街の一角。家賃は安いが壁が薄く、隣の生活音さえ聞こえてきそう。

小田の部屋。小田は用事で出ているようで、友人の木田と多田がダラダラと暑さに耐えている。

木田は、唯一の扇風機を独占し、アイスを三つ食べている。

多田  
・・・あっちい・・・  
木田  
・・・

間

多田  
・・・あっちい・・・  
木田  
・・・

間

多田  
・・・あっちいなあ・・・死んじゃうよ・・・  
木田  
・・・  
多田  
・・・ああ、こんな時にクーラーがあればなあ・・・  
木田  
・・・そうだな。

多田、マイムで窓を開け

多田  
ああ、せめて・・・風でも来ればなあ・・・  
木田  
・・・

多田  
・・・冷たい食べ物でもあれば、少しは凌げるのになあ・・・  
木田  
うるせえ！暑いのはみんな一緒だ！お前だけが暑いみたいに言いやがって何様だ！今は夏だぞ？猛暑だぞ？日本全国もれなく暑いんだよ！東京はまだマシだ。熊谷なんか暑いしか取り柄が無いんだぞ？申し訳ないと思わないのか！恥を知れ！甘えんじやねえ。心頭滅却すれば火もまた涼しいんだよ！

木田、扇風機を強にする。

木田 ……ったく…  
多田 ……殺すぞ？  
木田 ……ん？

木田は扇風機とアイスで割と快適。

多田 あんたが恥を知れ。  
木田 お前先輩になんて口を…  
多田 うるせえ！殺す！  
木田 おい夏に負けんなよ。まあ落ち着けて。  
多田 じゃあアイス下さいよ！  
木田 は？何でだよ？  
多田 なんでだよ？…なんでだよ？  
木田 何でだよ？  
多田 ……何でだよ！  
木田 何で！！  
多田 アイス、三つあったじゃないっすか。  
木田 うん。  
多田 俺と小田に差し入れじゃないんすか？  
木田 何でだよ？これは俺が買ってきたやつじゃん？  
多田 一つくらいくれてもいいじゃないっすか！  
木田 嫌だよ、何言ってるの？馬鹿じゃないの？  
多田 ええ！！  
木田 これは俺が食うために買ってきたんだよ。  
多田 ……もういいっす。

木田、アイスを食べ終る。

木田 あ〜ごっそさん。  
多田 ああ…あっちい…  
木田 またそれかよ、しょうがないだろ。  
多田 何で小田んちなんすか？クーラー無いのに。  
木田 近かったから。  
多田 またサボりっすか。  
木田 小田んち騒いでもOKだしな。  
多田 騒がないで下さいよ？暑苦しい。

間

多田 ……暇っすね。  
木田 小田、まだ帰ってこないのかよ。  
多田 コンビニ涼しいっすからね。立ち読みでもしてんじやないすか？  
木田 あの野郎。早くしろよ。  
多田 そうっすね。  
木田 早く俺のアイスの実を…  
多田 またアイスかよ。  
木田 なんだよ。じゃあ一個やるから…  
多田 一個かよ！  
木田 いらないのかよ？  
多田 いるよ！！  
木田 ふっ。初めから素直になれよ。  
多田 なんかも力つく……っつか、腹こわしますよ、冷たいもんばっか…  
木田 そんなに羨ましいなら、小田に頼めばよかったら？  
多田 甘いもんばっかで喉乾いても、俺のお茶あげませんからね。  
木田 いらねえよ。ちっちええ男だな。  
多田 ……木田さんに言われたくないっすわ。

間

多田 ……ああ暇、あちい、暇、あちい…  
木田 うるせえな。暑い暑い言ってる余計暑くなるぞ。  
多田 よし。ここは北極だ……寒い、寒い無理だあちい。  
木田 諦めがはええよ。  
多田 あっついよお。あっついよおお。

多田、上裸になり寝そべる。

多田 ……はっ！……ここがちよっと冷たい！  
木田 そんなわけあるか。  
多田 信じなくていいっすよ。はあん、ちよっと冷たい。あっ、ああん、ちよっと冷たい。

多田、床をクネクネしながら冷たいところに移動していく。

木田 . . .

木田、無言で真似をしだす。

木田 . . . あっ . . . ああ . . .

多田 ちよっと！俺の冷たいやつ取らないで下さいよ！

木田 うるさい。こっちは俺の陣地だ。

多田 . . . くっ . . .

二人、暫く喘ぎながら冷たいところを探す。

多田 . . . はっ！ . . . こたつ冷たい . . . ああ、こたつが冷たい。

多田、こたつの上でもぞもぞしている。

木田 . . .

木田もこたつに乗る。狭い。

木田 ああ、こたつ冷たい。

多田 なんなんすか！俺のこたつですよ！

木田 こっちは俺の陣地だ。嫌なら降りろ。

多田 嫌ですよ。床はもうあついんすよ。

木田 じゃあ、アイスの実が来るまで我慢しろ。

多田 一個下さいよ。

木田 わかってるよ。

間

多田 . . . なんか、こたつが冷たいって不条理っすよね。

木田 何が正しいかなんて誰もわからない。今はこたつが冷たい事が正義だ。

多田 深いっすね。

木田 人生ってのはそんなもんだ。

多田 公務員なのにサボってていいんすか？

木田 まあダメだろうな。

多田 働けよ。  
木田 嫌だよ。暑いもん。  
多田 夏に負けてるじゃないすか。  
木田 不条理だろ？  
多田 いや、ただのダメな奴ですね。  
木田 つうかお前働けよフリーター。そしてクーラー買え。  
多田 無理っす。暑いもん。  
木田 不条理だな。  
多田 ただのダメな奴です。

間

木田 小田が帰ってくるまでしりとりでもするか。  
多田 何でしりとり？  
木田 何でもいいんだよ。暑さを忘れられれば。  
多田 まあ、いいっすけど。  
木田 じゃあ、俺からな。・・・あつい」  
多田 いや、いきなり暑さ思い出したわ。  
木田 いいから続けろよ。  
多田 ・・・い、い、・・・「す」

小田、静かに帰って来てボーっとしている。  
二人は気づかない。

木田 す？・・・す・・・すき」  
多田 ・・・きす」・・・  
二人 ・・・

間

二人顔を見合わせ

間

気まずい

小田、コンビニの袋を置く。

二人 うおっ！

小田 . . .  
多田 なっ、なんだお前、帰ってきたなら言えよ！  
木田 ち、違うんだぞ？別に、別に、何にも無いんだからな？  
多田 ちよっと、誤解生む言い方しないで下さいよ！  
木田 だって！俺達、男同士なのに、裸で、二人で . . .  
多田 だから！ちっ、違うぞ小田！違うんだ！  
小田 . . .

小田、反応無くボーっとしている。

多田 小田？おい？  
木田 おい。こっちはあらぬ誤解を生んで楽しもうとしてんだから、ちよっとはノレよ。  
小田 あっ . . . あっ . . .  
多田 うわっなんか言ってる。キモッ。  
木田 おい、小田？  
小田 安室ちゃああああああああん！！！！  
二人 !!  
小田 えへえへえへ . . .

小田、気持ち悪い笑顔で立ち尽くす。

多田 おっ、おい . . .  
小田 えへえへえへ . . .  
木田 何だよ気持ち悪いな。コンビニの袋を漁って) おい！ピノじゃねえか！アイスの  
実は？俺のアイスの実は？  
小田 えへえへえへ . . .  
木田 . . . 笑ってんじゃねえ！(ゼンタ)  
小田 はっ!! すいません、何でしたっけ？  
木田 アイスの実は!!  
小田 アイスの . . . 実？  
木田 アイスの実だよ！  
小田 笑いながら) いや、何言ってるんすか。それピノっすよ。  
木田 . . . うるせえ！(ゼンタ)  
小田 何で!!  
多田 ちよっと殴ること無いじゃないっすか。たかがアイスで。  
木田 たかがだと？ねっとりチョコミルク系とさわやか氷菓子系じゃえらい違いなんだ

よ！

多田 どっちでもいいじゃないっすか。

木田 チョコ系食ったらベタバタすんだろ？

多田 甘いもんには変わりないっしょ。

木田 あくあ、そういうこと言うんだ？あげないからな？ピノ一個あげないからな！

多田 ふんっ、要らないっすよ！俺には冷たくいお茶がありますから！

木田 ……ぐうっ……

多田 はっはっは。天罰っすよ。袋からお茶を出しながら) おくくい、お茶！……ホ

ットじゃねえか!! (ゼンタ)

小田 ぐはっ！

多田 お前、こんなにそ暑いのに何でホットなんだよ！ふざけんな！ババアか俺は！

多田と木田、目が合う。

木田、ニヤツと笑い

木田 殴ること無いじゃないかあ、たかがお茶でえ。……あくピノつめたあくい。ピ

ノちゃんつめたいでちゅねえ。

多田 ……ぐうっ……

木田 ピノを一個食べ) んっつめたあくい！表面のチョコが、舌の上でゆっくりと溶けていく。そして突如訪れるバニラの衝撃。まさにアイスの中のアイスだ。……あく、べたべたする。口の中べたべたする。

多田、ニヤリ。

多田 日本人はお茶だよね。 (一口飲んで) あくさわやか！口に入れた瞬間香ばしい香りが鼻を抜け、しかしキレイ良く喉を通過する。カテキンの殺菌力が口の中を掃除してくれてるようだ。まさにキングオブ飲料。

多田、もう一口飲もうとするが止まり、泣きそうな顔で

多田 ……あっつい……

二人、向き合い同時に

木田 一口下さい。

多田 一個下さい。

小田 . . .

二人、握手して

木田 今は争ってる場合じゃない。ここは協力してやり過ごそう。

多田 こちらこそすいませんでした。ピノを、一個いただけますか？

木田 一個なんてケチくせえ。半分くらい食っちゃまえよ。

多田 懐が広い！ありがとうございます。

木田 よせよ。その代わりと言っちゃあ何だが、お茶を一口くれないか？

多田 もう、好きなだけ飲んじやってください。

木田 恩に着る。

小田 . . .

小田二人の様子を見て

小田 何やってんの？

二人 . . .お前のせいだろうが!!!

小田 ええ!!

木田 なんでピノ買ってきてんだよ！アイスの実つつたらろうが！どうやったら間違えられんだよ！

小田 えっ、ピノ嫌いですか？

木田 大好きだよ!!!

小田 えっ、じゃあ . . .

木田 そういう事じゃねえんだよ . . .そういうんじや . . .

木田、とつても落ち込む。

多田 てめえの血は何色だ!!

小田 はっ？

多田 はっ？じゃねえよ。はっ？じゃねえよ！

小田 何が？

多田 お茶つつたじゃん！

小田 お茶じゃん。

多田 ああお茶だよ！

小田 えっ？じゃあ . . .

多田 コールド買って来いよ！何でこんなに暑いのにホット緑茶なんだよ！

小田 先言ってよ。

多田 わかるじゃん．．．真夏じゃん．．．

木田 お前、おかしいぞ？ コンビニ行く前とえらい違いじゃねえか。

小田 えっ!! おかしくないっすよ!!

木田 いや、声がでけえよ。おかしいよ。

多田 何かあったのかよ？

小田 何かって．．．えへえへえへ．．．

木田 うわあ、気持ち悪い。

多田 ははあん．．．女だな。

小田 わかる？

木田 恋話か？ 恋話なんだな？

多田 女以外でこんな気持ち悪い笑い方はしないでしょ。

木田 ．．．夏、かあ。夏なんだなあ．．．

多田 よし！ 相談してみろ！

木田 そうだ、相談しろ。俺達は暇なんだ。

小田 いや、暇つぶしっすか？

木田 暑さを忘れられれば何でもいいんだよ。それでお使いの失態はチャラだ。

多田 そうだ、俺達は暇なんだ。協力は惜しまないぞ？

小田 うん．．．俺、安室ちゃん好きじゃん？

多田 いや、知らないけどね。

木田 安室ちゃんは大概好きだよな。

小田 ちゃんと聞いてよ！

多田 いやごめんごめん。

木田 で？

小田 コンビニ行ったらね？ 新しいバイトの子が入ってたんだけど、安室ちゃんにそっくりなんだよ。

多田 そっくりってことないだろ。コンビニに安室ちゃんレベルが落ちてるわけねえよ。

木田 そうだ。そんなことがあったら男は恋を惜しまないぞ？

小田 いや、ホントなんだって！ 俺が入ってたならニコツと笑って「いらっしやいませ」  
って．．．

多田 普通言うじゃん。

小田 いや、絶対他の客とは違う感じだったんだよ。もう、惚れたよ。一発だよ。

木田 ほほう。それで、ピノを買ってきたわけだ。

多田 それはもういいじゃないすか。

小田 ほんでお釣りもらう時、動作付きで、手を取って、ありがとうございました」っ  
て．．．

木田 普通じゃん。  
多田 それであっついお茶を手を取ったと？  
小田 何だよ全然協力する気ないじゃん！  
多田 いやごめんごめん。ちゃんと話聞くから。  
木田 ちよっとした仕返しだからさ。  
小田 もういいっすよ。  
多田 なんだよ話せよ。  
木田 そうだよ、実は話したいんだろ？  
小田 えへえへえへ、話したい。  
多田 そんなで？どうしたいんだよ？  
小田 はにかんで。うん．．．手をつないで海に行きたい．．．  
木田 お前気はええな。  
多田 デートの前にさ、気楽に飲みにでも誘っとけよ。  
木田 そうだな。連絡先くらい聞いてきたんだろ？  
小田 あっ．．．聞いてない．．．  
木田 は？  
多田 じゃあどうしようもないじゃん。  
木田 もう一回行って聞いて来いよ。  
小田 いや、無理っすよ。キモイ奴だと思われるじゃないっすか。  
木田 もう十分だよ。  
小田 やべえ、どうしよう．．．海に行けないじゃん．．．  
木田 いや、落ち着けて。  
小田 どうしよう。ジブリ乗りで自転車ニケツできない．．．  
木田 お前妄想やべえよ。  
小田 ああ．．．どうしよう．．．どうしよう．．．

小田、あたふたする。

木田、ちよっと曳く。

多田、唐突に

多田 よし！俺に任せろ！  
小田 えっ？  
多田 俺が今からコンビニ行って聞いて来てやる！  
小田 いや、お前が聞いても意味ないんじゃない．．．  
木田 待て。いい手だ。多田が聞いて失敗してもよし、もし聞けたならば合同のお食事会

を開けばそこでお近づきになれる。三対三で皆幸せだ！  
なるほど・・・

木田 夏だなあ、夏始まったなあ。

多田 だから、俺達に任せろ！

木田 ……え？

多田 小田、ここは俺達に任せとけ！

木田 え？俺も？

多田 当たり前じゃないっすか！

木田 いや、だって・・・

多田 ここは小田の為にひと肌脱ぎましょう！

木田 いや、何で俺も？

多田 その代わり、300円くれ！

木田 は？

多田 俺は、冷たいお茶が飲みたい！・・・木田さん、アイスの実食いたくないっすか？

木田 ……俺達に任せとけ！

小田 300円くらいやすいもんっす。お願いします！

小田、300円渡す。

木田 フオロミー！

多田 がってん！

出ていく二人。

小田 ……ああ・・・安室ちゃん・・・

小田、気持ち悪く笑っている。

小田 ああ・・・ああ・・・あっついな。

小田、何かに気づく。

小田 はっ！ここがちよっと冷たい！

小田、冷たいとを探してクネクネする。

小田 ああ・・・あつ、こたつ冷たい。ああ、こたつ冷たい・・・

小田、こたつの上で気持ち悪い。

小田 こたつ。こたつ。安室ちゅわああああくん。

小田、気持ち悪い動きをしている。

二人、無言で帰ってくる。

コンビニの袋を置く。

小田 うおっ！

二人 ……

小田 何だよく帰ってきたなら言ってよく。

多田 ……うん。

小田 で、で、で、どうだった？

木田 ……ああ。

多田 あれは・・・やめた方がいいんじゃないか？

小田 ちよっと何だよ？

木田 お前には手に余るよ。

小田 何言ってるんすか？

多田 やめとけ。一回失敗したんだ。諦めちまえ。

木田 そうだな。俺が何とかしとくからよ。

多田 いや、ここは俺が行きます。

小田 どうしたんだよ？ コンビニの袋を見てあれ？

小田、袋の中身を出す。

ピノとホット緑茶が出てくる。

木田 お前の気持ち、わかったよ。

多田 知らずに手に取ってんだよな。

木田 「いらっしやいませ」って、ニコッて・・・

多田 手を取って ありがとうございました」・・・

小田 ちよっ、ちよっ！まさか・・・

二人 惚れちゃった・・・

小田 おい！何してんだよ！

多田 しょうがないだろ！コンビニに天使がいたんだよ！  
小田 おかしいだろ！  
木田 ニコッて、安室ちゃんがニコッて．．．  
小田 先にされたの俺だから！  
多田 手をそっと支えて、ニコッって．．．  
小田 それも俺のだから！  
木田 手をつないで．．．海に行きたいんだ．．．  
多田 バランスの悪い、二人乗りをしたいんだ．．．  
小田 どっちも俺のだよ！  
木田 手を引け．．．  
多田 そちらこそ．．．  
小田 ふざけんな．．．

三人立ち上がり、同時に

三人 安室ちゃんは俺のもんだ！！！！

暗転

隣の部屋。

家主は城之内というらしい。  
誰もいない家のベランダに、どう見ても怪しい男が現れる。  
空き巣に入ろうとしているようだ。  
ガタガタと音を立てる。  
ダサイ。

青木 あっ！違う！違うんだっ！．．．ふっ．．．

カッコつける。

ダサイ。

何とか侵入する。

何かを探しているがなかなか見つからない。

青木 ．．．くっそ．．．どこにあんだよ．．．

青木、何かを探すのに夢中。

玄関から、どう見ても怪しい石山がケツ向きに入ってくる。  
お互い気づかない。

二人  
．．．ふう．．．

同時に目出し帽を脱ぐ。

気づく。

二人  
．．．!!

急いで被ろうとするがうまくいかない。  
諦める。

青木  
．．．おはよう。

石山  
ああ．．．おはよう。

青木  
元気？

石山  
まあまあかな。

青木  
何かあった？

石山  
うん．．．ちよっとね。

青木  
そっか．．．

石山  
．．．うん。

気まずい。

間

青木、体操をしだす。

しかし、何かを探しているように。

青木  
．．．あゝあ．．．

石山  
．．．何してんの？

青木  
ん？いや、別に？

石山  
何かあった？

青木  
え？いや、何もないよ。あるわけないじゃん。

石山  
知らないけど。何かおかしくない？

青木 おかしくないよ！どこがおかしいんだよ！  
石山 そっ、そうなんだ。  
青木 そうだよ！あたりまえだろ！  
石山 そうだね・・・  
青木 ぶつぶつ 何言ってるんだよ、ふざけんなよ・・・

ふてくされる青木。

石山、思い出したように

石山 ねえ、その帽子さ・・・  
青木 おかしくないよ！何だよ！意味わかんないよ！  
石山 いや、いよいよこっちが意味わかんないよ。  
青木 おかしくないよ！お前何だよ！おかしいよ！  
石山 ええ!!  
青木 どこがおかしいんだよ！この帽子の！おかしいよ！  
石山 もう、情緒が・・・  
青木 ぶつぶつ ぶざけんなよ・・・おかしいよ。おかしくないよ・・・

青木、目が血走り挙動不審。

石山、意を決して

石山 ドンキでしょ？  
青木 ……えっ？  
石山 ドンキで買ったつしよ。その帽子。  
青木 なっ、何で・・・  
石山 タグ付いてるよ。  
青木 慌てて）ああ！何で！初歩的な！  
石山 何でこんな真夏に？  
青木 ……かっこいいじゃん・・・  
石山 おかしいよ。  
青木 えっ？  
石山 おかしいよ。その格好で目出し帽は。  
青木 おかしくないよ。これは、あれだよ、アシメ的な奴だよ。ファッションだよ。  
石山 そういうのアシメって言わないし、違和感しかないよ。ダサいし。  
青木 ダサい・・・俺、ダサいんだ・・・  
石山 目出し帽はともかく、なんか色々ダメ出し・・・そもそもそのTシャツ変じゃな

い-thailand って書いてるし、なんかヨレヨレだしき、十分ダサイと思うよ。目出し帽なんか被らないでもハッキリ言っただよ。

青木、半泣きで

青木 やめろー！！！！．．．言い過ぎだよー！！！！

石山 ごめん。でもあんまりおかしかったから．．．

青木 お父さんがくれたんだよお．．．

石山 えっ？

青木 タイのお土産で買ってきてくれたんだよお．．．

石山 ．．．そっか．．．

青木 ．．．うん．．．

石山 ．．．ごめん．．．

青木 ．．．うん．．．

間

石山 カッコイイトオモウヨ．．．

青木 もういい。

石山 ．．．そっか．．．

青木 ．．．うん．．．

石山 ．．．ごめん．．．

青木 ．．．お父さん．．．

間

青木、思いついて

青木 偉そうに) ってかき、石山君も同じのじゃん。ダサイじゃん。

石山 うん。ダサイねこれ。かっこいいと思ってる人やばいよね。

青木 ．．．ひよ なんか変な音)．．．

石山 俺さ、空き巣なんだよね。

青木 ．．．

石山 青木君もそうでしょ？

青木 ．．．

石山 空き巣でしょ？

青木 うん。カッコよくないよ。  
石山 えっ？  
青木 カッコよくないよこの帽子。やばいよね、センスないよ。  
石山 ああ、うん。  
青木 thailand よりダサイよね。絶対。そう考えると、thailand はカッコいいことにもなるん・・・  
石山 ああ、ちよっともうその話いい？  
青木 はい。

石山、仕切りなおして

石山 何しに来たの？  
青木 いや・・・えっと・・・  
石山 ここ城之内さんちだよ？  
青木 ・・・鍋パーティーに呼ばれて・・・  
石山 あんま仲良くないの？  
青木 ・・・  
石山 ていうか真夏だよ？このくそ暑いのに何で鍋？  
青木 おいしいから・・・  
石山 そうだけど、もっとマシな嘘つきなよ。  
青木 ・・・  
石山 空き巣でしょ？じゃなきゃ真夏に目出し帽なんか被らない。  
青木 ・・・何で？  
石山 えっ？  
青木 何で俺と城之内さんが仲悪いって。  
石山 ああ、だって城之内さん、会社でかなり嫌われてるでしょ。本人は人気者のつもりかもしれないけど、みんな愛想笑いだし話聞くのもめんどくさいのに一方的に話して来るじゃん。しつこいんだよね。  
青木 やっぱみんなそうなんだ。  
石山 俺は空き巣。こんなことすんの、初めてだけど。  
青木 えっと・・・  
石山 この前さ、青木君もいたよね。喫煙所で城之内さんが上野さんに貯金自慢してる時。銀行信用できないって。家に置いとかなきゃ不安だって。  
青木 何の事だろ？  
石山 あの時青木君、目、血走ってたよ？俺がいたのも気づいてないっしょ。  
青木 ・・・

石山 笑って)まさか青木君も同じ日に来るとはね。目出し帽まで同じだし。  
青木 失敗かよ・・・何だよくっそ!あく、絶対上手く行くと思ったのに!部屋に入ると  
こまでは完璧だったのに!完璧犯罪だったのに!  
石山 完全犯罪。  
青木 完全犯罪だったのに!なんだよ、ふざけんなよ!  
石山 俺は、何かホツとしたよ。  
青木 はあ?  
石山 怖かったんだよ。ビビって空き巣なんか出来る奴じゃないんだよ俺は。  
青木 じゃあ来るなよ。何で来たんだよ!石山君が来たから・・・  
石山 だからさ・・・手も組もうよ。  
青木 ……えっ?  
石山 手を組もう。青木君だってビビってたんでしょ?  
青木 はっ?おっ、俺がビビるわけないじゃん。俺中二の時、画鋸でピアス開けたし。  
石山 それは我慢しただけだよ。流行りだったし。モテたかったんでしょ?  
青木 ……ひよっ 変な音)・・・  
石山 俺はお金が必要なんだ・・・青木君もでしょ?ここは手を組もう。  
青木 完璧・・・完全犯罪出来る?  
石山 出来るよ。誰にもバレなきゃいいんだ。  
青木 モテるかな?  
石山 いや、バレたらダメだから。  
青木 えっ・・・  
石山 ああでもお金があればモテるよね。  
青木 そうかあ。モテるかあ。

青木、上機嫌。

石山 ……はあ・・・  
青木 ん?・・・そういえばさ、石山君ずっとテンション低いよね?どうしたの?  
石山 いや、いいんだ。探そうお金。  
青木 ダメだよ。せっかくこうして仲良くなったんだから、相談乗るよ?  
石山 仲良くは無いやね。  
青木 あっ・・・うん・・・で、でも一緒に完璧犯罪するから戦友だね。  
石山 まあ・・・  
青木 だよね!戦友だよね!じゃあ教えてくれないと。命を預ける仲間なんだから。  
石山 はあ、まあいいや、面倒だし。  
青木 えっ?

石山 …青木君はさ、風俗って行く？  
青木 なっ!!なんで知ってんの!!  
石山 いや知らないよ。聞いてんだよ。  
青木 なんだビビらせんなよ。そりやもうよく行くよ。素人童貞だよ。  
石山 それは聞いてないよ。  
青木 だから金無いんだよ。それで空き巣だよ。  
石山 …えっ!!そんなんで空き巣すんの!!  
青木 そんなとは何だよ!  
石山 給料日まで待ちなよ!  
青木 俺だって大変なんだよ!それをみんなクズ扱いしやがって!  
石山 だってクズじゃん!  
青木 戦友まで!戦友までそんなこと言うのか!信じていたのに!  
石山 それとこれとは…  
青木 他に逃げ道が無いんだよ!!  
石山 …えっ?

青木、切なそうに

青木 他に逃げ道が無いんだよ…人の悩みを、絶望を、上から目線でコケにして、そんなにみんな偉いのかよ!  
石山 偉いっていうか…  
青木 みんなだって悩みくらいあるだろう!!辛いんだよ…辛いんだよ…

青木、絶望的な雰囲気。

石山、悪い気がし、気を使って

石山 …悩み、か…悩みって、何?  
青木 いいよ…どうせバカにすんだろ…  
石山 しないよ、バカになんて…戦友だろ?  
青木 …うん…ありがと…  
石山 話してみてよ。  
青木 誰にも言うなよ?戦友にだけ話すんだからね?  
石山 …わかったよ。

青木、(できれば)泣きながら

青木 ……俺さ……凄いだよ……

石山 ……何が？

青木 ……凄いだよ……性欲……

石山 ……えっ？

青木 止まんないんだよ！次から次に欲してしまうんだよ！俺、自分が怖いよ。もうどうしていいかわかんなくて……風俗行くしか逃げ道が無いんだよ！

石山 ……

青木 戦友なら、わかってくれるよね？

石山 ……ああ……うん……

青木 ありがとう。

石山 ……

青木 さて、俺の悩みをわかってくれたところで、石山君の悩みも聞こうか。戦友だしね。

石山 ああ、うん……実はさ……

青木 あっ、ちよっと待って！それ話すと長いやつでしょ？

石山 いや、そんなには……

青木 小腹減らない？何か食いながら話そうよ。キッチンになんかあるでしょ。

石山 でも、城之内さんのだから……

青木 空き巣なんだから一緒だよ。ちよっとくらい罪は変わらないよ。

石山 でも……

青木、気にせずキッチンへ

石山 ……

石山、渋々ついて行く。

ベランダに上野が現れる。

目出し帽をかぶり挙動不審。

ガタガタ音を立てる。

上野 違う！今の無し！俺じゃないんだ！俺がやったんじゃないよ……ふっ……

カッコつける。

ダサイ。

気を取り直して侵入しようとする。

上野 何だよ開いてんじゃん。ラッキーじゃん。へへへ。

上野が忍び足で侵入しようとした時、キッチンから二人が戻ってくる。  
何か食べ物 冷ごはんか何か)を見つけたようだ。

青木 何だよ、ろくなもんないな。普段何食ってんだよ。

石山 でも食べるんでしょ、それ？

青木 え？食べるに決まってんじゃん。

石山 そうなんだ・・・

上野、フリーズ

青木 まあ何もないよりは・・・気づく

石山 ん？どうした 気づく)・・・の・・・

三人

三人、フリーズ

間

上野

・・・

上野、ゆっくり出ていこうとする。

二人 いやいやいやいや！

上野 違う！違う！俺じゃない。

石山 何してんの何してんの！

青木 おかしいから！

上野 今の無し！俺じゃないんだって！

あっさり捕まる上野。

二人に両脇を抱えられ、持ち上げられてテーブルに立たされる。

上野

・・・

石山 上野さん。

上野

・・・

青木 何してんすか？  
上野 ……  
石山 上野さん。  
上野 ……違います。  
青木 いや、上野さんでしょ？  
上野 違います。下野です。  
青木 嘘つけ。  
石山 (ため息) はあ。上野さんまで来ちゃったよ。  
上野 ホントに上野じゃないって。あんな奴なわけないじゃん。あんなちんちくりんな訳ないじゃん。  
石山 いや、怪しすぎるから。  
青木 そもそも違うなら、なんで上野さんのこと知ってんだよ。  
上野 なっ、何言ってるんだよ、上野有名じゃん。  
石山 まあ会社では、ね。  
上野 だろ？だろ？  
青木 てことは同じ会社なんだね？  
上野 ……  
石山 上野さんあの身長だから、意外とOL達に、「かわいい」って人気の…  
青木 えっ!!  
上野 えっ!! そうなの!!  
石山 ……受付のミカちゃんも「かわいい」って言ってたかな。  
上野 マジかよ！マジかよ！  
青木 マジかよ！  
石山 企画室のアイちゃんも「抱き枕にしたい」って…  
上野 うおおー！マジかよ！  
青木 ブリいよ！ふざけんなよ！  
石山 今度の飲み会連れて来て欲しいって言ってたかな…  
上野 お願います!!!  
青木 お願います!!!  
石山 (青木に) いや、お前はちよっと落ち着けよ。  
青木 ん？  
上野 夏が来たあああああゝ!!!  
青木 うるせえ！  
石山 じゃあ上野さん、連絡先教えてもらってもいいですか？  
上野 イエス・オフコース!

上野、携帯を出そうとする。

石山 上野さん。何しに来たんですか？

上野 . . .

上野、フリーズ

青木 おい！俺も飲み会呼んでよ！戦友だろ？

石山 落ち着けて。嘘に決まってんじゃない。

上野 なっ!!

青木 なっ!!

石山、空気を落ち着かせる様に

石山 どう見てもバレバレなのに、嘘つくから。

上野 . . . いつ気づいた？

石山 最初から。なんならまだ部屋に入り切れてないところから。

上野 . . . 何故俺だとわかった？俺はまだ、目出し帽をかぶっている。完璧な変装だ。

完璧犯罪な筈だ。

青木 完全犯罪。

完全犯罪な筈だ。

石山 このシルエットは他に真似できない逸材ですから。

上野 . . .

石山 そもそも、それは変装って言わないんじゃないですか？

青木、上野の目出し帽を取る。

上野 . . .

青木 . . .

石山 . . .

上野 . . . ついに、バレちゃったか。

石山 だから最初からね。

青木 すげえな戦友！探偵みたいだったよ！

石山 その戦友って止めない？

探偵だと!!

石山 いや違うから。

青木　　そこで、上野さんは何しに来たんすか？

上野　　．．鍋バーティーに誘われて。

青木　　えっ!!やっぱりあんの!!

石山　　嘘に決まってんだろ。

青木　　何だ嘘かよ．．呆れたように そうだよ嘘だよ。真夏だよ?こんなクソ暑いのに鍋なんかやるわけないじゃないっすか。

上野　　．．おいしいじゃん。

青木　　ふっ．．もうちよつとマシな嘘ついた方がいいっすよ。

上野　　ごめん。

石山　　．．空き巣ですね？

上野　　．．うん。

石山　　どうして?上野さん会社じゃ比較的城之内さんと仲いいんじゃない?．．

上野　　そんなわけないだろ。話聞いてやってるだけだよ。機嫌よくなるとコーヒー奢ってくれるんだよ。

青木　　それでよく一緒にいるんすね。

上野　　ああ。だけど調子に乗り過ぎだよあいつ。自慢しかしてこないし、ちよつと痛い目見してやろうと思ってるな。無一文にしてやるよ。

青木　　．．えっ?それだけの理由で?

上野　　それだけって何だよ?あいつの金で、今度は俺がコーヒー奢ってやんよ!

石山　　いや、流石にやり過ぎじゃ．．

上野　　何だよ!立派な目標だろうが!大体お前ら何でここにいるんだよ?おかげで失敗したじゃねえか!

青木　　．．えっと、それは．．

石山　　空き巣ですよ、僕達も。上野さんと同じ。

上野　　．．えっ?

青木　　おい!

石山　　大丈夫だよ。上野さん、僕らも上野さんと同じ空き巣です。それぞれ目的は違いますが、手を組みませんか?三人口裏を合わせればアリバイだって作れます。

青木　　探偵みてえだ。コナン君だ。

上野　　．．とりあえず、テーブルから降りていいか?

石山　　あつ、すいません。どうぞ。

上野、テーブルから降りる。

小さい。

上野

．．

青木 . . .  
石山 . . .  
上野 何だよ？  
青木 いや、何でもないです。  
上野 そうか . . . で？手を組むってのは？  
石山 ああ . . . 僕らも、それぞれの理由でお金が必要です。ここでもったり鉢合わせたのも何かの縁ですから、手を組んでやりませんか？さっきも言いましたが、三人いれば、アリバイだって何とかかなと思います。  
青木 コナン君。  
上野 . . . まあ、悪くないな。しかし手を組むには条件がある。それを飲んでくれなきゃダメだ。  
石山 わかりました。  
上野 条件は二つ。一つは、俺が城之内にコーヒーを奢っているところをムービーで撮ること。出来れば *Bluray* に焼いて下さい。  
石山 . . . わかりました。  
上野 二つ目は . . . ミカちゃんとアイちゃんの飲み会に誘って下さい。本当にお願ひ致します。  
石山 . . . 何とかしてみます。  
上野 よし！いい夏になりそうだな！  
青木 ずりいよ上野さん！  
上野 そんなんで？お前らは何で空き巣なんかやるんだよ？  
青木 . . . 俺 . . . 凄いですよ . . .  
上野 何が？  
青木 . . . 凄いですよ . . . 性欲 . . .  
上野 風俗か。じゃあしようがねえな。  
石山 えっ？  
上野 止まんねえんだろ？自分が怖いんだろ？  
青木 . . . はい。  
上野 大丈夫。男として健全な証だ。あまり自分を責めるな。  
青木 . . . できれば泣きながら) 兄さん . . .  
上野 成功した暁には、一緒に行こうぜ。  
青木 はい！  
上野 最近はどこがいいんだ？  
青木 じゃんじゃん倶楽部って言うんですけど、最近勢いあるんすよ。  
上野 あくあそこか！よく噂聞くなあ。  
石山 じゃんじゃん倶楽部!!

二人 えっ？

石山、突然食いつく。

上野 何だよ？急にでけえ声で。

青木 ははぁん。石山君も行きたいんだな？いいよ、戦友だろ？土野にいいすよね？

上野 何だよ水くせえ。当たり前だろ？

石山 違うよ！！！！

二人 ！！

石山の雰囲気にはびる二人。

石山 俺の彼女さ、風俗で働いてるみたいなんだよ・・・

青木 えっ？

石山 何か最近連絡も付きにくいし、おかしいなって思ってたんだ。この前彼女んち行った時、テーブルの上に「じゃんじゃんくらぶ」の名刺があった。

二人 ……

石山 調べたら、風俗の名前だった。そんな仕事辞めろって言ったよ。そしたら、好きでやってるんだから関係ないでしょ」って……

上野 マジか……

青木 戦友……

石山 風俗で働く理由なんか金だろ！！金があればいいんだろ！！だから！！……だから……

二人 ……  
なんだか居た堪れない空気。

その時玄関から音がする。

城之内、帰ってきたようだ。

城之内 玄関で、ただいまぁー！はっはっは！

三人 ！！

三人、慌てて逃げようとするがひっちゃかめっちゃか。

ベランダから出ようとするが、三人だと狭くてなかなか上手く行かない。

城之内 おつかれー！誰もいないにも関わらず、元気に挨拶できる俺、いいなぁー俺っ

三人  
ていいな・・・気付いて）あれ？  
・・・

三人、フリーズ

城之内 何だよお前らー！  
三人 いや、あの・・・  
城之内 来るなら先に言えよー！  
三人 えっ？

城之内、とっつてもご機嫌。

城之内 どうやって入ったんだあ？  
石山 玄関開いてたんすよ！  
青木 遅かったじゃないっすか！  
城之内 あれっ？今日約束してたっけ？  
青木 いやあ、あの、えっと・・・  
城之内 あれ？上野、今日予定あるって帰ったじゃん？  
上野 あく、あく・・・  
石山 ・・・鍋パーティーです！  
三人 へっ？  
石山 今日はみんな暇で、男だけだし暑苦しく鍋でも食おうって。そしたら、上野さんが、サプライズドッキリで城之内さん脅かそうぜって。土野に）ねっ？  
上野 あっ、ああ！あっ、当たり前だろ。何言ってるんだよ。落ち着けよ。  
石山 小声で）あんたが落ち着けよ！  
上野 そうだよお前。結構なサプライズだよ。  
青木 あれですよ！城之内さん、今月誕生日じゃないっすか！  
城之内 いや、7月末だけど。  
青木 いやだなあ、夏って意味っすよ！ちゃんと祝い出来なかったんで、今日サプライズパーティーしようかな、なんて！（二人に）ねっ？  
二人 そうそうそう！  
城之内 マジかよ！何だよ、まんまと引かかったよ！  
三人 さぶら〜いず！  
城之内 やられた〜！くっそ、嬉しいなあ！ありがとう！  
石山 誕生日おめでとございます！  
青木 おめでとございます！

城之内 お前ら・・・ありがとう。なんてお礼を言ったら・・・  
上野 よせよ・・・親友だろ？  
城之内 ...上野...

城之内、目頭を押さえ感動している。

三人 ため息）はあぁ。

城之内 じゃあ、鍋やるか！

上野 おっ、おう！

城之内 用意は、まだか。帰って来るの早すぎたかなぁ。

青木 小声で）そうだよ、もうちょい遅かったら・・・

城之内 ん？

石山 もうちょい遅かったら完璧なサプライズ出来たのになく！

城之内 いや〜ごめくん！だって、知らなかったから〜！でも俺、被害者なんだから許してね♡

三人 ...はい。

城之内 はっはっは！

城之内、喜び過ぎてキモイ。

城之内 でき、この冷ごはん、何？

三人 ...

城之内 これ昨日の残りなんだけど？

青木 えっと・・・おじやです！鍋には欠かせないでしょ？

石山 そうなんすよ！何かないかと、勝手に冷蔵庫覗いちゃいました！迷惑でしたよね、すいません！

城之内 いやぁ、別にいいよ！

青木 冷ごはんしか入ってないって、普段何食ってんすか？

石山 小声で）おい、余計なこと言うな！

城之内 昨日まではのりたまあったんだよ〜！はずかしいなぁ〜！

青木 な〜んだ〜！

全員 あはははは〜！

城之内以外、超無理して笑う。

三人 ため息）はあ・・・

城之内 どうでもいいけど、お前ら荷物少ないなあ。

上野 ……俺は、やっぱ用意は？後輩に任せた方が？いいかなって……

青木 あっ、ずりい！

石山 さっき急に決めたもんだから、何にも用意してなかったんすよ！

青木 ああ、そうそう！上野さん、自分は何もしないでズルいんだから。

上野 いや、俺はあれだろ？先輩だろ？

青木 今そういうの関係ないっすから。

城之内 おいおい、仲良くしろよ。せっかくの俺のパーティーなんだから。

石山 ……すいません城之内さん。俺達、何も用意してなかったんで、鍋とか貸してもらっていいですか？

城之内 うーん、うちはこの人数で出来る鍋はないなあ。ていうか、食材とかも買ってきてないの？

上野 お前らしっかりしろよ！

青木 ふざけんな！

城之内 まあいいや、ケーキくらいあんだろ？それ食おうぜ。

三人 ……

城之内 えっ？無いの？

石山 ……すいません。とりあえず急いで来ちゃったもんで何も。あっ！今から買い出し行ってきます！

石山、立ち上がって出ていこうと

青木 ちょっと待て俺も行く！

青木も立つ

上野 しょっ、しょうがねえ！俺も行ってやる！

青木 いいよ来なくて！

上野 何だよ！

石山 やめろよ！早く行くぞ！

三人、小競り合い

城之内、冷たい口振りで

城之内 ……なあ。

三人 えっ？

城之内 ホントにお前ら、ここにサプライズパーティーしに来たの？  
三人 ……

間

その時、隣の部屋から叫び声が聞こえる。

???? 安室ちゃんは俺のもんだ!!!」

三人 !?

城之内 ……

三人、訳がわからない。

城之内は何か心当たりが有りそうだ。

青木 何だよ、今の声？

上野 知らねえよ。

城之内 ここ、壁薄いんだよ。隣の音なんか結構聞こえちゃうんだよ。

石山 そう、なんすか…

城之内 ああ。で、話戻るけど、お前ら何しに来たの？

青木 だから、サプライズ…

城之内 嘘つけ。そんなわけねえだろ。

上野 なっ、何だよ嘘って…

城之内 だつてさ…お前ら俺の事嫌いだろ？

石山 ……何言ってるんすか、そんなわけ…

城之内 いいってもう。嘘つかなくて。知ってる？俺会社で結構嫌われてんだぜ？

三人 ……

城之内 知ってるだろ？わかってんだよ。

三人 ……

城之内 俺の誕生日なんか祝うわけねえの。だつてお前ら、俺の連絡先すら知らないじゃん。

三人 ……

やりきれない間。

城之内、笑って

城之内 空き巣だろ。

三人 えっ・・・  
城之内 空き巣だろ？俺の貯金、盗みに来たんだろ？  
石山 そんなわけ・・・  
城之内 ほら。

城之内、三着の目出し帽をテーブルに投げ置く。

城之内 何で真夏に、こんな怪しいもん被るんだよ。

上野 だからサプライズで・・・

城之内 しつげえな。

上野 すいません。

城之内 そもそもな・・・教えてやるよ。空き巣は目出し帽なんか被らない。

石山 えっ何で？

城之内 バレるからだよ、目立つだろ？お前この中じゃマシかと思っただけど意外と馬鹿なんだな。センスねえよ。

石山 ……

青木 ダサッ・・・

石山 !?

城之内 せめてマスクとサングラスだろ。お前ら素人丸出しなんだよ。

上野 なっ、何だよ？お前何なんだよ？

城之内 ン？空き巣だよ。お前らと違ってプロのな。

三人 ……えっ!?

城之内 意外か？まあそうだろうなあ、あんまないもんな。

石山 どうして？

城之内 金に決まってるじゃん。お前ら、会社の給料で満足か？

三人 ……

城之内 きついだろ？必要なんだよ金は。だからやってんの。お前らと大して変んねえよ。

青木 何で、俺らにそんなこと言うんすか？

城之内 お前らじゃバラせないだろ？俺にバレちゃってんだから。

三人 ……

城之内 あと・・・まあ、情みたいなもんか。

石山 情？

城之内 いいこと教えてやるよ。この家に金は無い。

三人 えっ!?

城之内 お前らは、有るはずの無いもの探してんだよ。

上野 お前、嘘ついたのかよ！言ってたる喫煙所で！金貯めてるってよ！

青木 そうだよ！嘘で自慢してたのかよ！

城之内 嘘じゃねえよ、落ち着けて。ちゃんと金はあるよ。

石山 ……どういう事ですか？

城之内 いつもペラペラ自慢してんだ。家にあったら危ねえだろ？お前らみたいのにさ。

三人 ……

城之内 いろんなところにバラけて隠してんだよ。その一部、隣の家にあんのよ。

青木 はっ？

城之内 必要な時は、毎回忍び込むんだよ。俺、プロだしな。隣は頭悪そうなフリーターだし。

青木 そんなこと、教えてどうするんだよ…

城之内 やるよ、その金。

三人 はっ？

城之内 やるよ。その代わりに、自分で取に行けよ？空き巣なら空き巣らしく。

上野 何で…

城之内 暇つぶしだよ。刺激の無い生活なんてクソだ。

石山 本当なんですか？

城之内 嘘ついてどうすんだよ。何なら通報してもいいんだぞ？やるしかないんだよ、お前らは。

石山 ……ちょっと待ってください。

石山、二人を隅に連れて行き、

石山 どうする？

青木 どうするって言ってもな。

上野 お前はどうかんだよ？

石山 俺は、やるしかないと思う。

上野 マジか。

石山 持ち主がくれるって言うてるんだ。隣に見つからなきゃ、罪には問われない。

上野 確かに…

青木 ユナン君…

石山 どうする？

上野 やるか…金は必要だしな。

青木 その金で持ち主にクーヒー奢るってのも変だけどね。

上野 うるせえな。お前はいいのか？自分に恐怖したままで。

青木 ……無理っす。爆発しそうです。

石山 ……理由はどうかあれ、利害は一致してるんだ。やるしかない。

上野 わかった。  
青木 うん。ヤロウ。

三人、城之内に向き直り

石山 じゃあ、遠慮なくいただきに行ってください。

城之内 おう。まあ頑張れよ。タイムで、こんくらの封筒に入ってたから。

石山 他言無用でお願いしますよ。

城之内 当たり前だろ。成功したら一杯奢れよ？

上野 なっ、何でバレてんだ!!

青木 いや、コーヒーの事じゃないから。

城之内 何言ってるんだ？

石山 いや、何でもないんすよ。じゃあ行ってきます。

城之内 おう。旨いもん食わせてくれや。

三人、出ていく。

城之内、見送って

城之内 ははは、馬鹿な奴らだよ・・・

暗転

小田の部屋。

三人は、思い思いの場所で凹んでいる。

沈黙が続く。相当テンションが低い。

間

小田 ……

多田 ……

木田 ……

小田、とてもか細い声で歌いだす。

小田 ……きゃにゅせれぶれ〜い…

多田 . . .  
木田 . . .

間

小田 . . . きやにゆきすみくとうなくい . . .  
多田 . . .  
木田 . . .  
小田 . . . ういろういるらぶ . . .

多田、唐突に

多田 フラれたー！ー！！！！こっぴどくフラれたー！！！！  
小田 . . . ちくしょー！！！！フラれたー！！！！  
多田 何でふるんだよ！俺ほどの男前を！あのクソビッチが！  
小田 お前らのせいだ！  
多田 はあ？何でだよ？  
小田 俺の安室ちゃんにお前らが手を出すから！  
多田 俺の安室ちゃんだよ！だいたいお前がダラしないからダメなんだろう？  
小田 何でだよ？人の恋路の邪魔しやがって！  
多田 何だところら！  
小田 いきなり三人も来たら誰だって嫌だろ！馬鹿にしてるって思うだろ！  
多田 好きなんだからしょうがないだろ！  
小田 何で俺の好きな人好きになるんだよ！  
多田 僅差のタイミンダろうが！お前の好きより俺の方が好きなんだよ！  
小田 俺の方が好きだよ！

木田、一人静かに

多田 つうか俺だけじゃないだろ！何で俺ばっか責めるんだよ！  
小田 それはスマン！木田さんはどうなんすか！  
多田 何さっきから黙ってんすか！  
木田 . . .

木田、震えている

多田 き、木田さん？  
小田 ……泣いてるんすか？  
木田 ……泣いてないもん…  
小田 いや、何泣いてるんすか。  
多田 そりゃ悲しいけど、急にそこまで…  
木田 泣いてなんかないもん！  
小田 ……そっすか…  
木田 ……うん。

二人、それとなく気づかい

小田 ……でも、あれだよ。確かに安室ちゃんは可愛いけど、俺はやっぱ肌の白い子が好みだな。  
多田 「そうそう、肌がビツチ色だもん。大体知ってるか？安室奈美恵って40歳超えてるんだぜ？」  
小田 えっ!! マジかよババアじゃん！  
多田 そんなババアに手を出そうとしてたんだぜ？  
小田 あっぶねく！フラれてよかった！  
木田 あの子はババアじゃない。  
小田 ……そうっすけど…  
木田 安室奈美恵でもない。  
多田 そんな元も子もない…  
木田 俺達は、フラれたんだ。  
小田 ……  
多田 ……  
木田 強がって自分を傷つけるな。  
小田 ……  
多田 ……  
木田 悲しかったら…泣けばいい。  
小田 ……うっ…  
多田 ……ぐう…

二人、泣き出す。

木田 今日が終わるたび、胸をなで下ろすなんてやめよう…  
多田 ……あきらめること許したら、HELLOだって言えなくなるから…



小田 俺に得って？

木田 ……ピノを

小田 要らないっす。

木田 なっ!!

多田 じゃあ、その子に呼んで貰って複数人来てもらおう。誰を狙うか、小田が優先的に決めていいって事にしましょう。木田に( ) いいっすね？

木田 ……うむ。ここは折れよう。

小田 うくん。じゃあとりあえず連絡してみるね。

木田 お願いします！

小田、出ていく。

木田 おくい、夏始まったぜ。

多田 一度終わりましたけどね。

木田 夏は甦る。

多田 無駄にかっこいいな、それ。

木田 よせよ。

多田 褒めちゃいないっすけど。

二人 ……夏は甦る。はっはっは！

木田 気に入ってんじゃねえか！

多田 いやあく女来ちゃいますよ！

二人、テンションが高い。

木田 おくし、じゃあこたつ退けちまうか。

多田 なんで？

木田 暑いと…脱ぐよな？

多田 おお!…でもなんでこたつ？

木田 この部屋で、一番冷たい物はなんだ？

多田 ……さあ、早く！

多田、急いで片づける。

木田 落ち着けって。

多田 そっち持って！

木田も加わる。

運んでいるとき、こたつの天板が落ちる。

木田 おい！

多田 ああもう！

木田 落ち着けて。

多田 だって急がないと・・・あれ？

多田、天板の裏に封筒を見つける。

多田 何だこれ？

木田 ああ？貸して。

木田、おもむろに開ける。

多田 いいんすか？

木田 いいだろ。あいつの物は俺たちの物だ。

多田 ……

封筒から5万円くらい出てくる。

木田 金だ。

多田 あいつ、へそくりか？

小田、帰って来る。

小田 OKです！女の子来ちゃいます！

木田 おい。

小田 あれ、テンション低い。

多田 お前この金なんだ？

小田 ん？・・・手に取って。知らない。

木田 こたつの裏にあったぞ？

小田 あれ？何だろ？

多田 いつかのへそくりか？パチンコ勝った時とかの。

小田 いやあ、そうかも。なんか気持ち悪いな・・・

木田 ……使っちゃまうか？

小田 えっ？

木田 夏なんだから気前良く行こうぜ。

小田 まあ、ウチ何も無いしね。

多田 日も暮れて来たな。いつ来るの？

小田 近くにいるらしいから、そろそろ……

木田 じゃあ、急がないと……携帯を見る（うおっ！ヤバい！マジヤバい！

小田 なんすか？

木田 仕事戻らないと！俺巡回中じゃん！

多田 だからサボるなって……

小田 また空き巣？

木田 そう！流行ってんだよこの辺！

木田、警察の上着を着る。

小田 その格好、酷くないっすか？

木田 暑いんだよ！

多田 国家権力も怠慢だな。

木田 つないどけ！必ず戻る！

木田、出ていく。

多田 日本って腐敗してるよな。

小田 ああ。あんなのでも警察になれるんだもんな。

多田 国民の税金を何だと思ってるんだよ。

小田 ロリコンだしな。

多田 あのロリコンはほっといて買い物行くか。

小田 うん。なんでこたつ動かしたの？

多田 暑いとき……脱ぐよな？

小田 おお！……でもなんでこたつ？

多田 この部屋で、一番冷たい物はなんだ？

小田 そういうことか！

多田 夏は甦る。

小田 うおっ夏は甦る！

話しながら出ていく二人。

少しの間

ベランダに青木、石山、上野が現れる。  
まさに素人といった変な登場。  
目出し帽を被っている。

上野 誰もいないよな？  
青木 いないっすね。

二人、ガタガタ音を立てる。

二人 あっ！違う！ヤバイ！違う！．．．ふっ．．．  
石山 何してんだよ。さっさと終わらせるぞ。  
二人 ．．．

三人、侵入して部屋を物色する。  
青木、こたつの天板を外す。

石山 そんなところにあるはずないだろ。  
上野 そうだ。そんなところに隠す奴はよっぽど馬鹿だぞ？  
青木 ．．．くっそ、どこにあんだよ。  
石山 いいから、早く探すぞ。

青木、上野、サボりだす。

上野 あっちな。何でまたこれ 目出し帽被ってんだよ。  
青木 バレない為だっさ。  
上野 城之内にあんだけ言われたのによ。  
青木 かっこいいとでも思ってるんじゃないの？  
上野 マジかよ。とんでもねえセンスだな。  
青木 俺は止めといた方がいいって言ったのに、被れて言うから。  
上野 ふざけてるな。俺なんかサイズ感がもうおかしいことに．．．  
石山 うるさいよ！サボってないで探せよ！  
青木 あゝあ、怒られちゃったよ。  
上野 かっこいい帽子の人に怒られちゃったよ。

石山 お前らだって自分で買ったんだろ！  
青木 なんかさあ、めっちゃ指示されるよね。  
上野 自分がリーダーだとも思ってたんだろ。そつとしいてやれよ。  
青木 暑苦しいよね。  
石山 うるせえ！お前らが何も考えてないからだろ！文句あんなら脱げよ！  
青木 あっ、脱いでいいの？じゃあ。  
上野 何だよ早く言えよ。無駄にあちいよ。

二人、目出し帽を脱ぐ。

青木 あく、快適！  
上野 素晴らしい空気だ。  
青木 まだ暑いな。上も脱いじゃおうか？  
上野 おお、ナイスアイデアだ。  
青木 でも、リーダーが何て言うか・・・  
上野 そうだな・・・また怒られるかもしれない。

二人、石山を見る。

石山 ・・・勝手にしろよ。いちいち俺に聞くなよ。  
上野 よーし！許可が下りた！  
青木 言ってみるもんだね！

二人、脱ぎだす。

石山、黙々と探す。

石山 ・・・  
上野 あくもう、こう暑いと嫌んなっちゃうな。  
青木 リーダーもさ、意固地にならないで脱いじやいなよ。  
上野 そうだ。無駄だぞ？そのこだわり。  
石山 ・・・でも・・・  
上野 あく気にしてないから大丈夫だよ。  
青木 うん。戦友だろ？  
石山 ・・・ありがとう。

石山、脱ぎだす。

石山 あく！暑かった！熱くなってたごめん！

上野 気にするな。夏のせいだ。

青木 おお、かっけえ。

上野 いいか？仕事にやる気が出ないのも、恋がしたくなるのも、なんだかソーメンが食べなくなるのも、全部夏のせいなんだよ。

青木 おお！

石山 じゃあ、お金探そう。

青木 ちよっと待って。ソーメンが食べたい。

石山 えっ？

上野 さっそく夏のせいだな。

石山 いや、そんな事してる場合じゃ・・・

青木 ソーメンが食べたい！

上野 (石山に) しかたねえ、諦める。夏のせいだ。

青木 ソーメン！

上野 よし、休憩！

青木 ソーメン！

二人、キッチンへ。

石山 ……

石山、キッチンへ。

間

三人ダッシュで戻ってくる。

青木 ヤバい！帰ってきた！

石山 だから早く探そうって！

上野 おい！言い争いしてる場合じゃねえ！

青木 どうしよう!!

上野 隠れるぞ！

石山 どこに!?

三人、慌てる。

上野 トイレだ！

三人、トイレへ。

狭くて入れない。

青木と石山、上野を追い出す。

上野 おい！俺も入れろよ！

青木 無理！入れないから！

石山 どっか隠れてください！

上野 先輩だぞ？！敬えよ！

青木 ちっちゃいんだから何とかなるっしょ！

石山 すいません！

上野 お前ら！

ドアが閉まる。

上野、超テンパった挙句、こたつに隠れる。

小田とサクラ入ってくる。

小田 ちょっと狭いけどごめんね。

サクラ お邪魔します！小田さんち初めて来た！

小田 そうだっけ？サークルで家飲み結構してたんだけどな。

サクラ 何で呼んでくれなかったんすか。

小田 ごめんごめん。

サクラ 部屋を見渡して。へえ。なんか小汚くて臭そうですね。

小田 ……ああ、うん。ごめん。

サクラ 何にも無いですね。貧乏なんですね。

小田 ……ああ、うん。ごめん。

サクラ、部屋の中を物色する。

小田、なんだか凹んでいる。

多田、逃げ込んでくる。

京子が獣のように追ってくる。

多田 うわあ！

京子 待ってよろし！  
多田 助けて！  
京子 うふふ。もう逃げられない。  
多田 怖ええ！  
小田 ちよっとどうしたの？  
多田 何なのこの人！  
サクラ ああ、京子さん、イケメン見つけると血が騒ぐらしいんですよ。  
多田 何だよそれ!!  
京子 日照ってるのよ。  
小田 へえ、綺麗な人なのね。  
京子 ……えっ？  
小田 いや、単純に綺麗だと思うんだけど。普通にしてればモテるんじゃないですか？  
京子 多田に)……そう？  
多田 あ、ああ、うん、そうだと思う。  
京子 ……えへへへ。

京子、ニヤニヤしている。  
キモイ。

多田 何なの？  
サクラ あ、多田さんすね。初めまして。  
多田 あ、どうも。  
小田 後輩のサクラちゃん。変わった子だろ？  
多田 京子にビビりながら) いや、まあ…。  
サクラ 聞いてた通りイケメンっすね。  
京子 きいえ〜！  
多田 うおっ！  
サクラ だいじょぶっすよ。取りやしませんって。  
京子 ふへへ。  
多田 怖えよ…。  
サクラ 京子さん、バイトの先輩なんすよ。  
小田 さっきは変わった子とか言っでごめん…。  
サクラ あと萌さん、ちよっとだけ遅れるって。  
小田 萌さん？  
サクラ 先輩っすよ。二人連れて来いって言うから。萌さん可愛いっすよ。  
小田 うおお、マジで〜？

サクラ 期待しちやっついていいっすよ。

小田 そりやもう、だって萌だろ？名前がもう可愛くなきゃダメなやつじゃん！

サクラ このどエロ〜！

小田 うへへ〜。

多田 あっ！ずりい！

京子 ……多田を睨む

多田 ひいっ！

小田 優先的に選べるんだろ？お前が言ったんだぞ？

多田 くっ…

サクラ で、そっちのもう一人は？

小田 あっ。

多田 さっき仕事で出てっちゃった。

サクラ なんすか、あたし一人つまんないじゃないっすか。

小田 ごめん。

サクラ まあいいや。京子さんなんか飲みます？

京子 多田君、何か飲む？

多田 えっと…

京子 いいから、ほらほら！ビールでいい？

京子、多田にビールを渡し無理やり座らせる。

京子 何でテーブルこんなところにあんのよ。

多田 冷たいから…

京子 よくわかんないけど。

京子、こたつを元に戻す。

上野 ……

上野、オブジェのように固まる。

サクラ お兄ちゃん!!

全員 えっ？

上野 サクラ？

サクラ なんでここにいるのよ!!

上野 お前こそ！ 部屋を見渡し)……不埒だ！

サクラ 何が！  
上野 男と女が複数人で・・・乱交パーティーじゃねえか！  
サクラ 違うわよ！っていうか何で裸なのよ！  
上野 暑いから！  
小田 ……えっと？  
上野 誰だ貴様！  
小田 いや、お前が誰だよ！  
上野 貴様か！妹の貞操を奪おうとしてるのは！  
小田 うおっ、何だよ！  
多田 おいおい！

上野、小田に襲いかかる。  
弱い。

小田と多田にあっさり抱えられ壁際まで連れて行かれる。 (三回くらい)

多田 なんだよこいつ・・・  
上野 ……俺の負けだ。妹を頼む。  
小田 いや、意味わかんない。  
サクラ 何してんのよ。  
上野 ちよっと用事があったてな。  
サクラ 服着てよ。  
小田 ここ俺んちなんすけど。  
上野 問題ない。  
小田 あるよ！  
サクラ もしかして、もう一人っってお兄ちゃん？  
上野 何が？  
サクラ 自宅合コン。  
上野 合コ・・・小田と多田に(ちよっと。  
サクラ ？

上野、小田と多田を呼び小声で話す。  
サクラ、携帯をいじりだす。  
京子は多田を見てニヤニヤしている。

上野 ……初めまして。上野です。

小田 ああ、どうも・・・

上野 怪しいものではありません。

多田 怪しいよ。裸だし。

上野 これは失礼しました。紳士的に服を着る)

多田 おお、紳士的だ。

上野 急にお邪魔してすみません。サクラの兄です。

小田 はあ・・・

上野 もしよろしければ、合コンに混ぜてくれませんか？

小田 あ・・・まあいいですけど・・・

多田 あの、なんでここに？

上野 已むに已まれぬ理由があります・・・探し物をしています。  
小田 何を？  
上野 (タイムで) こんぐらいの封筒なんですけど・・・

サクラ、唐突に

サクラ あ！萌さん来たって！迎えに行ってくる！

サクラ出ていく。

小田 それで？

上野 その封筒に、僕のお金が入ってるんです。

多田 ……あつ。

小田 ……

上野 何か知ってるんですか？

小田 ……えっと。

多田、封筒を出す。

多田 ……見つけとききました。

上野 え？マジで？ありがとう！

上野、封筒を受け取る。

上野 よしし！

多田 あの・・・

上野 ん？

多田 ちょっと使っちゃいました。

小田 おい！

上野 ああ、大丈夫。130円あればいいから。

多田 え？

上野 俺は裏切られた。130円残して合コンで使っちゃおう。

多田 裏切られた？

小田 なんかおかしいな・・・

上野 え!!何がおかしいんだよ!!

多田 声でかっ。

小田 使われても大丈夫とか、そもそもなんでウチにあるの？

上野 それは、さ、あれだよ・・・

小田 ...空き巣とかじゃないですよね？

上野 はあ!!なんだよ!!空き巣な訳ないじゃん!!俺が空き巣なんかするわけないじゃん

!!

小田 いや、知らないけど・・・

多田 なんか流行ってるらしいんですよ。

上野 だからって俺が空き巣な訳ないじゃん!!

小田 そうなんすか・・・

上野 そうだよ。当たり前だろ。ふざけんなよ。

小田 はあ・・・

サクラ、入ってくる。

サクラ お待たせしました。ほら、萌さん早く!

萌、不機嫌そうに入ってくる。

萌 ...

サクラ 萌さんですす!

男達 ...えっ

サクラ あれ?...萌さんですす!可愛いでしょう。

小田 ...萌さん?

サクラ 萌さん。

多田 ...萌さん?

サクラ 萌さん。可愛いでしょう?

二人 . . .

萌 何よ？

上野 あっちゃんい声でババアじゃん . . .

萌 おい。今なんつった？

上野 いえ . . .

萌 まあいいや。酒。

小田 えっ？

萌 あ？ただで酒飲めるっていうから来たんだけど？

小田 . . . すいません。焼酎ロックでいいですよ？

萌 何だよ。どういうことだよ。

小田 いや、なんとなく . . .

萌 カシスソーダに決まってるんだろ。

小田 カシスソーダ？

多田 カシスソーダ？

上野 カシスソーダ？

萌 カシスソーダ。

男達 . . .

萌 何だよ？

サクラ あっ、私焼酎もらいます。

京子 私は多田君と同じの。

サクラと京子、酒を飲みだす。

男達 . . .

萌 カシスソーダ。

小田 . . . すいません。ソーダないんで、ウーロンでいいですか？

萌 ちっ。まあいいや。お願い。

小田 はい . . .

小田、酒を作り萌に渡す。

小田 どうぞ . . .

萌 ありがとう . . . ほら、あんたらも遠慮しないで飲みなよ。

男達 . . . はい。

男達、酒を飲みだす。

上野  
ちよっと。

上野、二人を呼んで

上野 小声で）おい。まさかこれで全員じゃないよな？

小田 全員です・・・

上野 はっ？約束が違うよ。俺は安室奈美恵みたいな美人が好きなんだよ。

小田 あなたもですか。

多田 安室ちゃん、40過ぎのババアっすよ？

上野 マジかよ？

多田 まあ、全然イケますけどね。

上野 ああ、女は年歳じゃない。色気だ。

多田 同感です。

上野 俺は、上は黒木瞳から、下は発育の良い小学生までイケる。

多田 マジすか・・・ただ、現実を見ないと・・・

萌 何こそそやってんのよ。

小田 あ、いえ・・・

京子 ほらほら多田君！

多田 ああ・・・

京子、多田を引っ張っていく。

多田、されるがまま。

小田 でも、萌さんも色気あるじゃないっすか。

上野 ババアって程の歳でもないしな。

小田 じゃあ何で・・・

上野 ツンはタイプじゃない。

小田 理想高いんすね。

上野 それにさ、ちっちゃいじゃん。

小田 あんたが言うか。

萌 ほら、突っ立ってないで飲みなさいよ。

二人 はい。

二人も席に着き酒を持つ。

サクラ じゃ、じゃ、じゃあ、今日は楽しましょー！

京子 いええくくくあ！！！！

多田 ああ．．．

サクラ カンパ〜イ！

各々の気持ちで 乾杯」

多田は ああ．．．」

しばしの歓談。

京子 ねえねえ、多田君は普段何してる人？

多田 フリーター．．．

京子 へえく、かっこいいい〜！

サクラ かっこいいのか？

京子 かっこいいじゃない！

サクラ まあイケメンっすよね。

京子 食べちゃいたいわ。

多田 ああ．．．

多田、怯えから徐々に諦めへと

萌 暑いな。クーラー無いの？

小田 すいません、扇風機しか．．．

萌 この部屋、何にもないのね。

小田 すいません．．．

萌 あんた仕事は？

小田 お恥ずかしながら、僕もフリーターです。

萌 そっか．．．世の中厳しいよね。

小田 えっ？

萌 やりたいことするには時間も金もかかるし、でもお金を稼ぐためには時間を削らなきゃいけないし．．．しんどい国よね、日本って。生きにくい。

小田 はあ．．．

萌 一日14時間、休みなんてほとんど無く働いて、それでようやく一か月過ぎさせる。

世界一平和な国ってのはいいんだろうけどさ。世界一忙しい国だよ。本当に自由の無い国。どんな仕事でも、皆そうなんじゃないかな。本当にやりたい事だけ出来る人って、一握りもないんじゃないかな。

小田 . . .

萌 私も目標あるんだけどさ、そのために色々蔑ろにしちゃってる。でも不幸って思っちゃダメだよ。目標を達成して、笑ってやろうぜ。負けんなよ？

小田 姐さん . . .

全員 . . .

サクラ 萌さんカッケェっす。

萌 まっ、たまにはさ、こうやって飲んで、辛い事も忘れちまえばいいんだよ。楽しめる時に楽しんどかないと人生損するよ？ほら飲め。お前の酒なんだし。

小田 姐御 . . .

少ししんみり。

上野、空気が読めない。

上野 俺は？俺には質問無いの？

サクラ お兄ちゃんうるさい。

上野 なんだよ、俺にも質問してよ。合コンしてよ。

サクラ ちよっと黙ってよ。

上野 いいじゃん俺も合コンメンバーじゃん。楽しめる時に楽しむんだろ？

萌 ンじゃ、逆にあんたが質問してよ。

上野 おっ？よろし、質問しちゃうぞく！何にしよっかな。

上野、楽しそう。

上野 じゃあ、どんな仕事してるんですか？!

小田 普通じゃん。

多田 パクリじゃん。

上野 いいんだよ。こういうやんわりしたところから攻めてくのが鉄則なんだよ。

多田 何のだよ。

小田 まあ、気になるけど。

上野 ほらほら、何のお仕事？

京子 私達は「にやんにやんくらぶ」っていう、秋葉原にある . . .

上野 あく青木が言ってた最近勢いのある . . . えっ？

サクラ 何よ？

上野 サクラも？

サクラ うん。

上野 ……ふざけんな！お前何してんだよ！ちゃんと仕事選べよ！

サクラ 何急に怒ってんのよ？

上野 そんなバイト辞めちまえ！

サクラ はあ？嫌に決まってんじゃない。

上野 何故！金か！金が欲しいからか！

サクラ まあそれもあるけど、楽しいからかな。

京子 ねー楽しいよねー！お客さんと近い感じするし！

サクラ みんな優しいっすよね！あとなんか、自分じゃない自分になれるっというか、新しい自分を発見できるっというか……

上野 そんな自分、見つけなくていいよ！……見つけなくていいよ……

多田 急にどうしたんすか？

上野 ああ……サクラが汚れてしまった……

上野、一人絶望する。

萌 何なのよ？

サクラ すんません。変な兄で。

小田 それで、どんなことしてるの？

サクラ えーっと、お客さんに……どう言えばいいんだろ？

京子 この際やって見せた方がいいんじゃない？

サクラ あっいいすね。

上野 良くないよ！やって見せるって、えっ？！ここで？！兄貴の前で？！  
サクラ うるせえな。じゃあ、やって見せるんで、小田さん、お兄ちゃん押さえててください。

小田 オッケー。

小田、上野を押さえる。

京子 じゃあ多田君！お客さんやって！

多田 ああ……

サクラ そんな怯えなくてダイジョブっすよ。

京子 ほら、萌さんも！

萌 あたしはいいよ。

京子 照れ屋さんなんだから。

サクラ 店じゃ一番人気じゃないっすか。

萌 仕事よ。まあ、楽しいけど。お金の為にやっってるから。

サクラ ちえ。萌さんのが一番凄いのにい。

上野 一番凄いいい・・・

萌 いいから早くやんなさいよ。

サクラ じゃあ私説明しますんで、多田さん入って来ててください。

多田 えっ？

多田、一旦ハケ、入ってくる。

京子とサクラ、猫っぽく

二人 ご主人様、おかえりだにゃん！

多田 えっ？

京子 一緒にゴロゴロしようにゃん！

サクラ ほら、ノッてくださいよ。

多田 あっ、ただいま？

京子 ほらほら、こっち来るにゃん。

京子、多田を座らせ、膝に頭を乗せる。

京子 ふへへへ、ゴロゴロ。にゃん。

サクラ ほら、頭撫でてください。

多田 ああ、うん。

多田、撫でる。

京子 ふへへへ・・・

小田 あくなるほどね！メイドカフェみたいなの！

サクラ そうっすね。まあ、逆膝枕はオプション料金がかかりますけど、女の子には断る権利があるんすよ。多田さんラッキーっすね。

多田 ああ、うん。

サクラ 猫カフェとメイドカフェを足して二で割るみたいなの？

小田 へえ、色んな事考える人がいるなあ。

サクラ 結構楽しいっすよ？猫だから自由にしていいんすよ。話したくなかったら話さなくていいし。時給もそこそこいいし。

小田 おもしろいね。

上野 ……ふっふっふ。そうだよな。そんなわけないよな。

小田 何が？

上野 お兄ちゃんは信じていたぞ。お前はそんな子じゃない。  
サクラ 何なのよ？

上野 どうぞ辞めずにお仕事続けてください。  
サクラ 意味わかんないんだけど・・・

上野 さくて、楽しく合コンしましょうか！

上野、楽しそう。

小田 萌姐さんもやってるんすね。意外。

萌 何でよ？

京子 萌さんのツンデレは凄いいよ。ほぼデレなのに、一瞬のデレで全部持ってくんだから。敵わないな。

萌 そんなことないでしょ。

小田 いやあ、見てみたいなあ。

萌 ダメ。お金が出なきややりません。

小田 ちえく。しっかりしてんなあ。

サクラ あと、イベントタイムで、お客さんとじゃんけん大会するんですよ。三人勝ち抜いたら一時間無料券が貰えたり。

小田 へえく。

上野 ほほう・・・ではそのじゃんけん、萌さんにやっていたらどうか。

萌 はっ？だからやらないうって・・・

上野 これでどうだ！

上野、封筒から一万円出す。

上野 お金です！やってください！

小田 マジかこの人・・・

サクラ ちよっとお兄ちゃん。

上野 お願いしまーす！

萌 ...わかった。

サクラ えっ？

萌 仕事よ。

萌、一万円受け取る。

萌 では・・・超全力で振り付きにゃくんにゃん！にゃくんにゃん！ご主人様とく

にゃんにゃんじゃんけんじゃんけんポン！

上野

小田

多田

三人、笑いを堪える。

萌 ……何だよ？

上野 ……いえ…

京子 ちよつと、じゃんけんなんだから、相手がいないと。

萌 おい、余計なこと…

サクラ そうよ。お兄ちゃん、ちゃんとやってよ。

上野 ああ、ごめん。もう一回お願いします。

萌 はっ？

上野 いえ、期待以上の出来でしたので、(二万円出し) これで。

萌 ……

萌、受け取る。

上野も一緒に

萌 ……超全力で) にゃんにゃんにゃん！にゃんにゃんにゃん！ご主人様とくにゃんにゃん

じゃんけんじゃんけんポン！

萌、勝つ。

萌 (ごこも、なんかお決まりの振り付きで) 勝った〜！ご主人様、猫は自由な生き物

なの。懲りずにまた捕まえに来てくださいね！にゃん！

小田 ……

多田 ……

上野 ……

萌 ……何だよ？

小田 ……

多田 ……くっ…

萌 ……お前、今笑ったか？

多田 ……いえ…

サクラ いやあ、やっぱ萌さんすげえっす。懂れます！

京子 うん！やっぱNo.1は違うね！

萌 褒められてんのか？

小田 ……噴き出す）ふふおあ！

萌 殺す。

小田 すいません！違うんです！

上野 失礼だろ！

小田 あ、ずりい！

萌 お前ら！

和気藹々。

サクラ ちょっとトイレ借ります。

サクラ、トイレへ。

全員、ワイワイしていて気にしない。

サクラ、トイレのドアを開ける。

上裸の青木と石山がいる。

切ない表情をしている。

サクラ ……

青木 ……

石山 ……

サクラ、ドアを閉める。

サクラ ……ぬおあ！

京子 どうしたの？

サクラ いや、あれ？疲れてんのかな？

京子 どうしたのよ？

サクラ トイレに…

京子 トイレ？

京子、ドアを開ける。

青木 ……

石山 . . .  
京子 . . .  
サクラ . . .

京子、ドアを閉める。

二人 . . .ぬおあ！

萌 ちよっと、どうしたのよ？

サクラ ト、トイレに！

京子 変態が、変態が！

萌 変態？

萌、トイレに向かう。

多田 何？

小田 どうしたの？

上野 . . .あっ、やっべ . . .

萌、ドアを開ける。

青木、飛び出す。

青木 うわあ〜〜！

サクラ ぬおあ！

京子 きゃあ！

小田 うおっ！誰だよ！

多田 気持ちわりい！

上野 おい落ち着けよ！

青木 うわあ〜〜！

上野、青木を落ち着かす。

石山と萌、見つめ合って固まっている。

萌 . . .良夫 . . .

石山 . . .萌ちゃん . . .

萌 何、してんのよ？

石山 ……かくれんぼ？  
萌 そんな訳ないでしょ！何でここにいるのよ！  
石山 これには、訳があつて……  
萌 いいから出てきて。

二人、部屋の中へ

萌 服、着て。  
青木 はい。着ようよ。  
小田 あんたじゃないよ。  
青木 ……止める。  
多田 いや、でも着ろよ。  
青木 ……

青木と石山、服を着る。

青木 ……  
石山 ……  
萌 何してるの？  
石山 ……  
上野 ……これには、訳があるんだよ。  
萌 あんた関係ないでしょ？  
上野 いやあ、その……  
小田 つうか何？知り合い？  
上野 会社の同僚。  
多田 何でいるの？しかもトイレに。  
上野 隠れたんだよ。俺を裏切つて。  
青木 別に裏切ったんじゃない……  
上野 いいよもう。一緒にこの金探してたんだよ。  
多田 ああ、お仲間。  
小田 納得すんなよ、他人んちだと思つて。やっぱ、空き巣つか？  
上野 ……城之内……隣の部屋の奴さ、嫌な奴じゃない？  
小田 ああ、めんどくさい人っすね。  
上野 あいつも同僚なんだけどさ、取つて来いって言われたんだよ。あいつの金。  
青木 ちよつと！  
上野 もういいだろ。俺達は向いてないんだよこつこついうの。この部屋に隠してたんだよ。

多田 あいつ、空き巣なんだよ。この金やるよって、そそのかされてな。  
はぁ・・・

上野 遊びが過ぎたな。すまなかった。  
・・・何で？何で空き巣なんか・・・

石山 こっちが聞きたいよ。何でそんな仕事してんだよ。いや、わかってんだよ。お金だ  
ろ？  
・・・

石山 この前、喧嘩になったじゃん。辞めて欲しいっていても、聞いてくれないし。  
辞める理由ないもん。急に辞めろっておかしいでしょ？好きでやってんのよ。  
だからって！なんでそんな仕事・・・風俗なんか・・・

萌・・・はっ？

石山 俺、調べちゃったんだよ。萌ちゃんちにあった名刺。にゃんにゃん倶楽部」  
いい店だよ。

青木 五反田の高級ヘルスだった。何で風俗なんか・・・

石山 ちよっ、ちよっと待って！何よ風俗って！  
えっ？

上野 ああ、それな。誤解だったみたいだよ。サクラに)店の名前ってどんな字書くの？  
サクラ えっ？ひらがなで にゃんにゃんくらぶ」

上野 うむ。石山、お前テンパって調べたる。漢字で倶楽部にしなかったか？  
石山・・・したかも。

上野 それは今勢いのある五反田のヘルスだ。この子達が働いているのは秋葉原の にゃ  
んにゃんくらぶ」ひらがなだ。まあ、メイドカフェみたいなものだ。つまり、お前  
は完全な誤解で追い込まれていたんだよ。  
すげえ、ユナン君みてえだ。

青木 メイドカフェくらいいいだろ？ちゃんと、謝っとけ。

上野・・・なんか、誤解してたみたいだ。嫌な気持ちにさせてゴメン。

石山・・・私も、変に熱くなっちゃってごめん・・・最近忙しくって、全然時間作れな  
くって、ちゃんと説明してなかったね。ごめんね。

青木 ねえ、なんでお金いるの？

小田 あんた、空気読めねえな。

青木 いや、気になるじゃん。戦友の戦う理由だし。

多田 何言ってるんだこいつ。  
・・・ああ、もういいや。言っちゃう！結婚資金よ！石山良夫さん！私と結婚して  
ください！

石山・・・えっ？

萌 もうちよっだったのに！もうちよっで目標額いくのに！あゝあ、バラシちゃ

った。

サクラ ええ？

京子 マジですか？

萌 そしたら仕事やめようかかって。この人、何でも抱え込んじゃうから、一人でやろうとするから、コソソリ役に立とうと思ったのになく！失敗失敗。

サクラ 辞めちゃうんすか？

萌 まあ、そうね。あつでも、プロポーズ断られたら続けるかな。

京子 石山に）おいてめえ。ウチの姐御がこう言ってるぞ？早く返事しろこら。

多田 えっ、こわっ。

石山 その・・・何て言ったら・・・

京子 何でもいいんだよ。てめえの気持ちを不細工に、真っ直ぐに伝えればいい。ビビってんじゃねえよ。ちんこついてんのか？

多田 ちんこ・・・

石山 ・・萌ちゃん。ホントは俺の方から言わなきゃいけないかった。女の子の方からプロポーズなんて、恥ずかしいな俺は。何にもできない、うだつの上がないダメ男ですが、後悔はさせません。僕と結婚してください。よろしく願います。

萌 ・・・

萌、無言で抱き着く。

もしかしたら、涙を見せないように。

もしかしたら、普段隠している女の子らしさが顔を出すのを抑えるように。

サクラ うおお・・・やべえ、いいシーンだ。

京子 萌さん・・・多田の手を握る

多田 ・・・なんとなく強く握り返す

石山と萌、顔を上げ笑顔で見つめ合う。

小田 ・・・なんか、一件落着かな？

サクラ そっすね。

上野 いや、ちよっと待て。

小田 なんすか？

上野 結果、何かいい感じだが、俺達は、空き巣だ。

小田 まあそっすね。

上野 なんかさ、お前らしい奴だよな。馬鹿だけど。

多田 あんたに言われたくないっすわ。

上野 もうなんか、どうでもいいわ。通報してよ。  
小田 えっ？

青木 ……上野さん。

上野 しゃくないよ。諦めろ、なっ。

青木 ……はい。

上野 ほら、早く警察呼んでくれ。

サクラ お兄ちゃん……

小田 あ、そういやそろそろ帰って来るかな警察。

多田 あく忘れてたな。ダメ警察。

小田 とりあえず、俺らはめんどくさいからいいっす。俺の金じゃないし。

多田 むしろ、率先して使ってたし。

小田 なんか、せっかく夏っぽくなってきたし、楽しんじやいましょう！

多田 結婚祝いっすわ！せっかくの門出に、しみりした空気じゃつままないっすよ！

京子 好き。

多田 急だなおい。

上野 いいのか？

小田 夏が暑いのが悪いんすよ。

多田 そうだな。

上野 夏のせい……か。

小田 おっ、ちよっとかっけえ。

上野 石山は誤解が晴れ、俺はコーヒー代を手に入れた。至れり尽くせりだな。本当にありがとう。

小田 何言ってるんすか。

多田 俺らは楽しけりゃいいんすよ。

青木、唐突に

青木 ちよ、ちよっと待って！

小田 何？

青木 俺なんも達成してない！なんか皆ズルくない？俺楽しくない！

多田 何だこいつ？

青木 上野さん、にやんにやん倶楽部行くなって約束したじゃん！

京子 いつでもどうぞ？

青木 そっちじゃねえ！五反田の！

上野 ああ、ほれ。封筒を渡す

青木 何？

上野 お前が持ってけ。130円だけくれよ。

青木 ……封筒を覗いて。夏が甦ったく!!!!

小田 ここでも夏が甦った。

多田 流行ってんのか？

サクラ じゃあ、話すのは後回しにして、とりあえず乾杯しちゃいますか！

小田 おくし、飲むか？！

上野 つまみとかあんのか？

多田 ピノしかないっすね。

上野 何だよ。

各々、ワイワイと飲み物を持つ。

サクラ それじゃあ皆さん、お二人の婚約を祝って……

その時、木田が帰って来る。

木田 ただいまく!!!!どうなった!!?うお、まだ女いたく!!!!

小田 タイミング悪！

木田 なんか男多いな！まあいいや！さくて、楽しんで……

木田、サクラを見て固まる。

サクラ なっ、なんすか？

木田 きやつ、きやにゆせれぶれい!!

サクラ は？

小田 ちよっと。

多田 引きずってんじゃん。

サクラ 何なんすか？

小田 木田さん。ロリコンなんだよ。

木田 きゃん、ゆー、せれぶれい？

サクラ 無理っす。

木田 なあっ!!

木田、フラついて顔を上げる。

萌が目に入る。

木田 きやにゆせれぶれ・・・

萌 死ね。

木田 ぐはっ!!

多田 何で姐さんに？

木田 合法ロリも含む！

多田 ああ。

京子 ちよっとなんで私には来ないのよ？

木田 あっ、ちよっと黙ってもらっていいですか？

京子 何よ!!

小田 ああもう！

全員わちゃわちゃしている。

笑顔ではしゃいでいる。

青木 こうやってさ、知らない奴らと急に仲良くなっちゃうのも、全部暑い夏のせいなのかな。

上野 おお、わかってきたじゃねえか。

サクラ そんじゃあ、全部夏のせいにして、楽しんじやいましょう！かんぱうい！

全員 かんぱうい!!!

皆がはしゃいでいる中、ゆっくりと暗転していく。

夜の明かりが入る。

暗い小田の部屋には誰もいない。

そこは宴の後で何もない。

ベランダに、城之内が現れる。

城之内  
・・・

あっさりと侵入。

城之内 ったく、騒いでやがったな。素人共がよ。お前らなんかが見つけられるわけないだろ。馬鹿な奴らだ・・・あれ？

こたつの天板には何もない。

城之内 あれ、あっちだっけか・・・

城之内、キッチンへ

間

ダッシュユで戻ってくる。

城之内 うおっ、やべ、帰ってきた！

テンパった挙句、こたつの下に隠れる。

三人帰って来る。

小田 いやしかしラッキーっすね！ばったり遭遇って！

木田 ラッキーじゃねえ。実力だ。

小田 それで、どうなったんすか？

小田、電気をつける。

木田 ああ、とにかくこのカツユでめっちゃ怒られてな。ベソかきながら歩いてたらアパートに侵入しようとしてる奴がいたから現行犯でお縄よ。

小田 ラッキーじゃないっすか。

多田 でも良かったっすね。昇進あるんじゃないっすか？

木田 そんな簡単じゃないだろうがなあ・・・ん？

小田 どうしたんすか？

木田、こたつを指さす。

こたつが微妙に浮いている。

三人、顔を見あわせ、何もなかったかのように。

木田 まあ、捕まえたんだけどよ、どうやらそいつだけじゃないんだよな。この辺の空き巣被害。

多田 へえ〜。

木田 もう一人、凄腕のがいそうなんだよ。

小田 でも、なんか凄くなさそうっすね。

木田 そうだな。

多田 しかし、やっぱ木田さんラッキーっすね。一日に二人も空き巣捕まえちやうんすから・・・

三人、こたつを持ち上げる。

そこには、蹲った城之内。

まるで、土下座をしているような。

城之内  
・・・

城之内、顔を上げ三人を見まわした後、観念したように土下座する。

音楽と共に暗転。

幕